

科目名 (Eng)	人文・社会科学概論A (Invitation to Humanities and Social Science A)								
担当教員	川崎 俊郎								
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目	
	一般科目 (工学系4科)	2	前期	必修	1	30	一般	B	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5). 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：1).								
授業の概要と方針	現代の経済活動を理解する上で必要となる基礎的な知識と考え方を教授する								
到達目標	① 3つの経済主体の特徴とその行動を理解する ② 市場原理の基礎を理解する ③ 財政政策・金融政策の基礎を理解する								
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容				準備学習		
前期	1	経済体制	資本主義経済・社会主義経済・修正資本主義 (混合経済)				① 配布プリントの次回分を読んでおく  ② 授業内容のまとめをやっておく		
	2	市場経済の仕組み	経済主体・経済循環・需要と供給・価格の自動調節機能						
	3	市場の構造	完全競争市場・独占市場・寡占市場・寡占の形態						
	4	金融 1	貨幣の機能・直接金融と間接金融・金融機関の種類						
	5	金融 2	信用創造 (マネタリーベースとマネーサプライ)、金融政策						
	6	財政 1	予算、租税制度 (租税の種類・累進課税制度)						
	7	財政 2	財政政策 (ビルトインスタビライザー、フィiscalホリゾン)、公債 (クラウディングアウト)						
	8	国民経済 1	国民所得の概念 (GNP、GDPなど)、三面等価の原則、経済成長率						
	9	国民経済 2	国民所および、経済成長率の計算						
	10	景気 1	景気循環の概念、景気循環の波						
	11	景気 2	第二次世界大戦後の日本経済 (高度経済成長、安定成長、バブル経済)						
	12	物価 1	物価の考え方、物価指数、インフレーションとデフレーション						
	13	物価 2	インフレーションおよびデフレーションの種類と対策						
	14	労働問題	失業の種類、失業率とその計算						
	15	経済を見る眼	授業の総まとめ						
試験について	中間試験は実施しない。期末試験は試験期間中に50分で実施する。								
評価方法	定期試験の得点を70%、課題・レポートを30%の割合で評価する								
教科書	配布プリントを教科書の代わりとする								
参考書	清水雅博(2000)『名人の授業 清水の経済攻略 経済理論と時事テーマ』株式会社ナガセ 清水雅博(2004)『一目でわかる 政経ハンドブック』株式会社ナガセ								
関連科目	人文・社会科学概論B								
履修上の注意	授業は配布プリント中心に進めるので、なくさずに必ずファイルすること。また課題・レポートは期限・様式を厳守すること								